

logicool

# 自分のスペースには、どの会議室バンドルが適しているのでしょうか？

ハイブリッド環境で成功するためにオフィススペースを最適化するためのガイド



# はじめに

オフィス勤務が再開されましたが、状況が変化し、以前にも増して多くの人々が在宅勤務やハイブリッドで働くようになりました。そのため、オフィスの優先順位は対面でのコラボレーションを中心としたものからビデオを通じたコミュニケーションへと変化しました。それに伴いオフィスの構成も変更する必要があります。

役員会議室にはかつて、入れ替わり立ち替わり社外からの訪問者が訪れ、サンドイッチの大皿も常に置かれていたかも知れませんが、今ではビデオ通話のみに使用されています。しかし、だからといってオフィスが時代遅れになったというわけではありません。ハイブリッドで働く生活には利便性が多いことは確かですが、コラボレーションが必要な仕事は実際に会って行うほうが簡単な場合が多々あります。そして、適切な設備があれば、新しいオフィスでのビデオ会議の体験をより良いものに

できる絶好の機会が今です。幸いなことに、企業は現在、新しい働き方に合わせて戦略やスペースを微調整できる立場にあります。

世界の従業員の3人に1人がより良いビデオ会議の設備を求めており、これに対応するオフィススペースの最適化は極めて重要な課題となっています。お客様に合わせて構成されたビデオ会議システムは、もはや特別な贅沢というものなどではなく、これからのビジネスの成功に不可欠な要素となっています。ロジクールは、あらゆる種類やサイズのスペースに適した事前構成済みのビデオ会議ソリューションを提供しています。

それではまず、会議スペースを最大限に活用する方法を見ていきましょう。



# 小会議室

2024年までには、ビデオ会議の約75%が4~6名収容の会議室で行われると推定されているため、空きスペースに投資する価値があります。実際、小会議室ソリューションを使用すれば、どんなに小さなハドルルームやフォーカスルームでも、効果的なデジタルコラボレーションの拠点として利用できます。小会議室バンドルには、[Rally Bar Mini会議用カメラ](#)、[Tap](#)または[Tap IP会議室コントローラ](#)が含まれており、アプライアンスベースまたはPCベースの導入方法のいずれかを選択できます。

このバンドルは、以下のような場合に最適です。

- ④ 最大6名まで収容可能な会議室
- ④ 対面式の会議のような雰囲気を実現したい
- ④ 面積は小さくても役員会議室向けと同等のパフォーマンスを実現したい
- ④ かさばるケーブルやアクセサリを収納するスペースがない





## 最高のビデオパフォーマンス

[Rally Bar Mini](#)は、小会議室向けのプレミアム一体型ビデオバーです。4Kビデオ、リアルな色に加え、どんなに騒がしいスペースでもチームの集中力を維持するためのさまざまな機能を提供します。このビデオバーは、AI、人間の知覚、電動式パン/チルトテクノロジーの組み合わせにより、会議室内の状況に合わせて、周囲の不要な雑音や気が散る音声を抑え、会議参加者の動きに焦点を合わせます。

最も良い点は？ Rally Bar Miniでは、アプリケーションモードを使用して、対応するビデオ会議アプリケーションをデバイス上で直接実行できます。また、追加のソフトウェアを必要とすることなく、USB経由であらゆるPCやMac®に接続できます。

## 小さなスペース向けの豊かで自然なサウンド

小さな会議室から大きなアイデアが生まれることもあります。Rally Bar Miniのパワフルなオーディオ機能が、小さな会議スペースにいるすべての人に音を届けます。ひずみの少ないスピーカーは会議室全体に広がるサウンドを届け、アダプティブビームフォーミングを搭載したマイクはすべての声をクリアに相手に伝えます。

特許取得済みの耐振動サスペンションシステムにより、まるで実際に会って話しているかのように聞こえる、自然な双方向の会話を実現します。

## 会議に簡単に参加できる

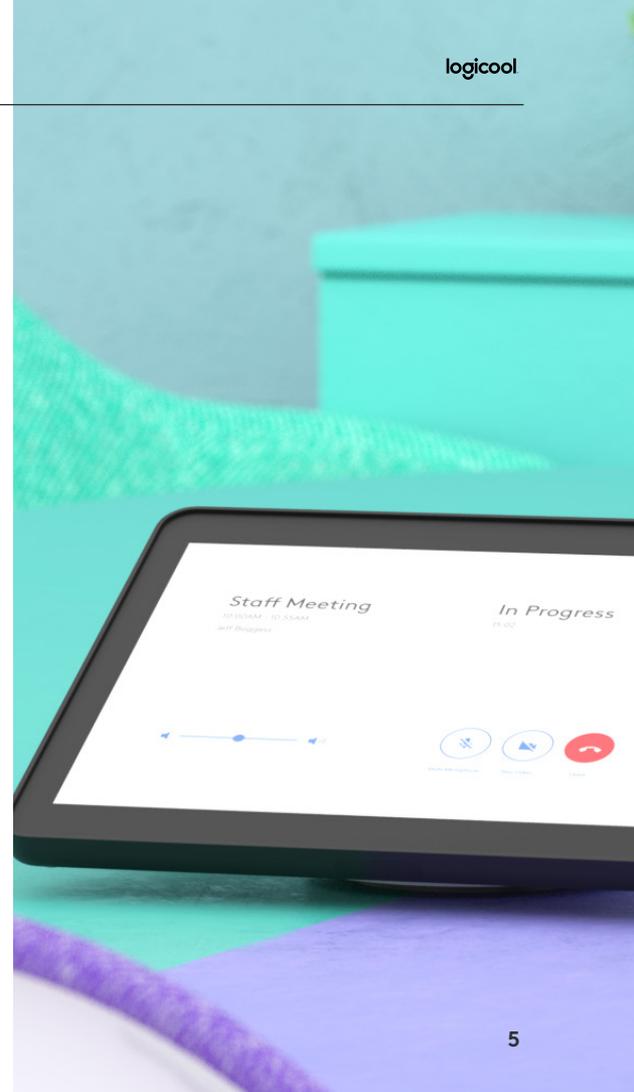
タッチコントローラを使用すれば、ストレスなくシームレスに会議に参加できるようになります。[Tap](#)と[Tap IP](#)は、直感的なタッチスクリーン操作により、共有の会議スペースを使用する際の負担を軽減します。

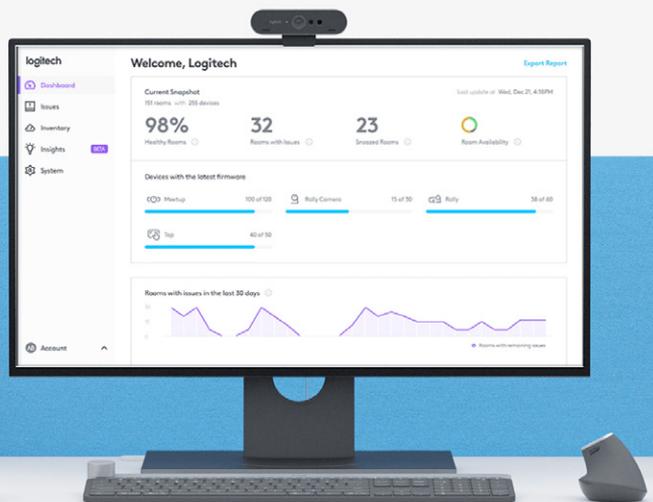
カレンダーとの連携により、ワンタッチで会議に参加するのに必要な情報を入手できるため、会議招待URLが届いていたのを忘れていたり、2週間前のメールを慌てて探したりする必要がありません。

## すっきりとした空間

見苦しく絡み合うケーブルの状態を好む人はいませんが、狭いスペースでは、その雑然とした状態が目立ち、ただでさえ忙しく働いているITチームに混乱をもたらしてしまうという問題があります。雑然としているものを隠す場所がない場合、小会議室向けのビジネス用のケーブル管理システムと汎用性の高い取り付けオプションを利用することで、会議室システムの構成をさまざまな方法で行えることに加えて、ケーブルが整理されて動きやすく、作業しやすいスペースを生み出すことができます。

たとえば、Rally Bar Miniは、乱雑なケーブルを隠すための革新的なケーブルガイドを備えています。マルチポイントのケーブルリテンションシステムにより、ケーブルが外れてしまうことなく、ケーブルを上下左右の方向に向けることができます。多彩な取り付けオプションにより、ディスプレイの上下やテーブルの上など、スペースに合わせて設置することができます。常に優れた外観を実現します。





## 監視や管理が容易

[ロジクール Syncは](#)、できる限り簡単に大規模なビデオ導入への対応を行うことができるようにする会議デバイス管理プラットフォームです。この革新的なクラウドベースのソフトウェアにより、便利な単一のプラットフォームから企業全体の数千台ものロジクールデバイスをリモートで管理でき、時間のかかる現地訪問の必要性を最小限に抑えることができます。

Syncは3つのコア機能、すなわち、監視、管理、測定の機能を備えています。

監視機能を使用すると、ITチームはリアルタイムでデバイスを自動的かつインテリジェン

トに監視し、実際に問題が発生したり、従業員に影響が及んだりする前にフラグを立てて問題を未然に防ぐことができます。問題が発生したときに対処するのではなく、Syncの予防的かつプロアクティブな機能によりシステム全体が見渡せるため、先手を打つことができ、ダウンタイムや中断がなくなります。

Syncの自動化された監視と管理により、すべての機能が正常にバックグラウンドでシームレスに動作する安心感をもたらし、セットアップとチームの成長と拡大に集中することができます。

## 中会議室

プレゼンテーションには十分な広さで、1対1であれば十分な居心地の良さです。中規模の会議室があれば、チームのあらゆるニーズに合った専用のビデオ会議室を作る絶好の機会となり、中会議室ソリューションは、それを実現するための最適なバンドルです。

これには、[Rally Bar会議用カメラ](#)、[Tap](#)または[Tap IP会議室コントローラ](#)が含まれており、アプライアンスベースまたはPCベースの導入方法のいずれかを選択できます。

このバンドルは、以下のような場合に最適です。

- ④ 最大16名まで収容可能な会議室
- ④ 生産性の高い会議を実現するために、スタジオ品質の映像が必要
- ④ 周囲の雑音を抑えながら、クリアで自然なサウンドでの会議が求められる
- ④ ビデオ会議システムの構成や設置方法について、さまざまな選択肢を持ちたい



## 鮮明な映像

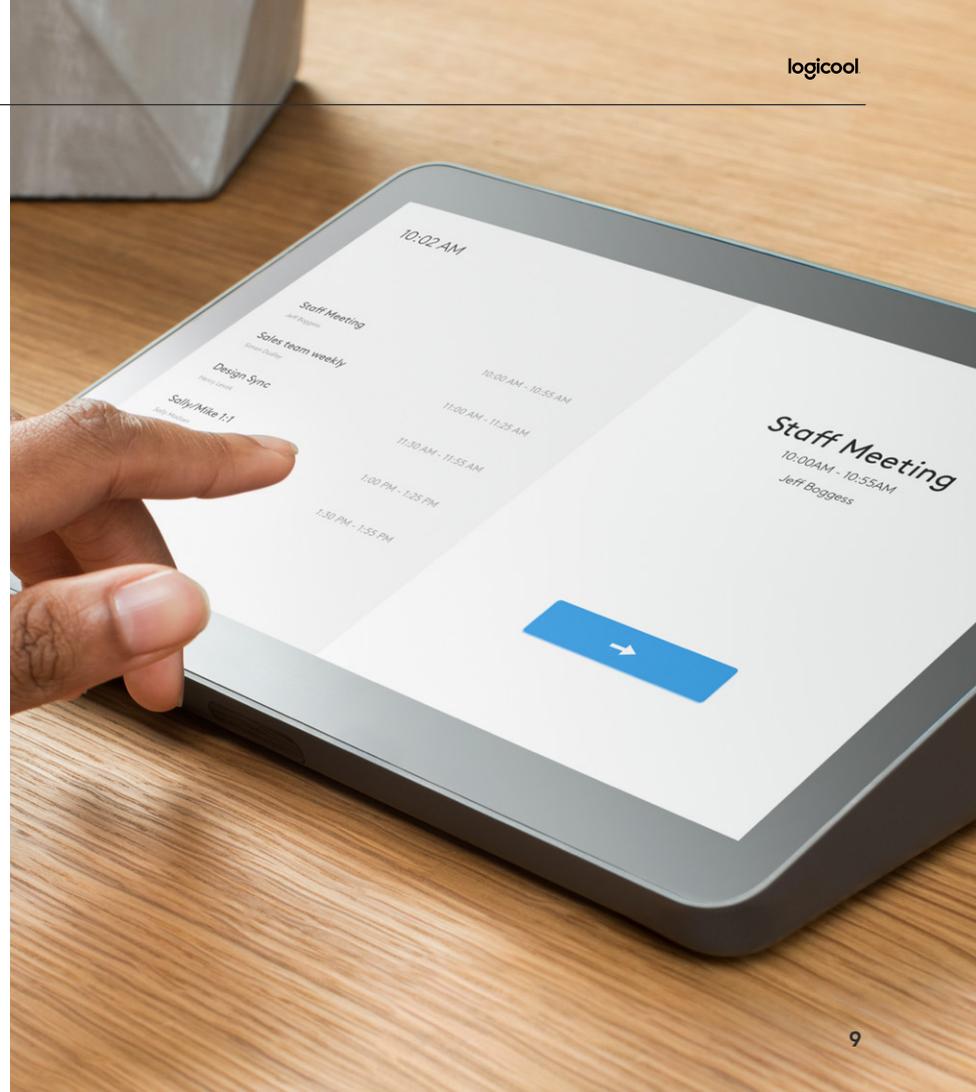
中会議室ソリューションに付属するRally Barカメラは、ロジケールのソリューションに期待される最高のパフォーマンスを、シンプルで設置が簡単な一体型ビデオバーで実現します。映画品質の映像、AIビューファインダー機能、ロスレス光学ズームを備えたRally Barは、大人数でのビデオ通話を容易にし、参加者全員の姿と声をクリアに届けます。

さらに、アプライアンスモードを使用して、対応するビデオ会議アプリケーションをデバイス上で直接実行することもできます。また、追加のソフトウェアを必要とすることなく、USB経由であらゆるPCやMac®に接続できます。



## 会議を簡単に

多くの人を一ヶ所に集めることは、いつも簡単とは限りません。そのため、[中会議室ソリューション](#)には、TapまたはTap IPタッチコントローラが含まれています。ワンタッチで参加できるシンプルさほど、会議をすばやく始められる方法はないでしょう。Tapによって、通話を開始するまでの時間が短縮され、会議に要する時間が数分単位で短縮されます。また、通話が完了した時点で、Tapではすでに次の会議の準備が整っています。





## 大音量かつクリアな音

中会議室では、ホールレベルのスピーカーは必要ないかもしれませんが、だからといって、従業員にとって最適とは言えないオーディオで妥協する必要はありません。[Rally Bar](#)には、パワフルで、ひずみの少ないスピーカーが搭載されており、会議室全体に広がるサウンドを届けます。その一方で、マイクは高度なビームフォーミングテクノロジーを使って、会議室内のすべての声をクリアに相手に伝えます。さらに、特許取得済みの耐振動サスペンションシステムにより、まるで実際に会って話しているかのように感じられる、自然な双方向の会話を実現します。

購入時、[Rally Bar](#)には4.5メートルの集音範囲があります。より広い集音範囲が必要な場合は、最大3台の[Rallyマイクポッド](#)で集音範囲を拡張することができます。AIベースのRightSoundテクノロジーは、周囲の不要な雑音を抑制しながら、現在の話者に自動的にフォーカスします。

## すっきりしたケーブルと確実な導入

多数のオフィスや拠点にわたって会議室テクノロジーを導入する必要がある場合は、すばやく、そして最小限の労力に対応する必要があります。安全なケーブル管理により、ケーブルやコンポーネントをしっかりと接続し、整理し、邪魔にならないようにしながら、設置をシンプルかつ迅速に行うことができます。

[Rally Bar](#)を設計する際、IT部門に最適なセットアッププロセスを提供することを優先させました。[Rally Bar](#)は、革新的なケーブルガイドと内蔵のケーブルリテンションにより、すばやくすっきりとした設置が可能になります。さらに、さまざまな取り付けオプションを使用して、スペースに合わせた設置をすることができます。



## ビデオコラボレーションのリモート管理

1つの会議室を使用するような場面でも、さまざまなオフィスに設置された数千台のデバイスを使用するような場面でも、[ロジクール Sync](#)を使用すると、単一のシンプルなダッシュボードから、ビデオ会議機器のシステム全体を必要な時に、または定期的に更新することができます。デスクでくつろぎながら、接続されているすべての会議室に最新のファームウェアを導入できます。また、更新のスケジュールを設定できるため、業務の中断を最小限に抑えることができます。夜間の更新、ダウンタイムなし、現場訪問なし、つまり、全員が得をします。



# 大会議室

多くの組織では、大会議室は、より複雑な機器や設定が必要な場合が多く、これらは平均的な会議主催者にとってはハードルが高いものです。しかし、このように感じる必要はありません。ロジクールの大会議室ソリューションを使用することで、大会議スペースでも、ハドルルームと同じように、使いやすく導入や管理が簡単になります。

大会議室バンドルには、[Rally Plus会議用カメラ](#)、[Tap](#)または[Tap IP + 会議室コントローラ](#)が含まれており、アプライアンススペースまたはPCベースの導入方法のいずれかを選択できます。

**このバンドルは、以下のような場合に最適です。**

- ① 16~46名まで収容可能な会議室
- ② 放送品質の映像と会議室全体に広がるオーディオが必要である
- ③ 参加者すべての姿や声が届いていると感じられるような、公平な会議体験を実現したい
- ④ 従業員がどこで仕事をしていても、プロフェッショナルなプレゼンテーションを行う必要がある





## 参加者全員が集中

大会議室では、会議室の前方から離れて座っている人々を含めて、カメラが人々の姿を捉え、フォーカスを維持できることが不可欠です。会議室全体をカバーできることが重要です。

そのため、[Rally Plus](#)ソリューションには[Rallyカメラ](#)が搭載されています。このプレミアムなPTZ(パン・チルト・ズーム)カメラは、鮮明な15倍HDズーム、90°の広い画角、優れた4Kセンサーを備え、会議室内の全員を卓越した画質で捉えることができます。

## 鮮明な通話音声

大会議室で、カメラから離れている人々が他人の声を聞き、その声を伝えるためには、モジュール式で拡張可能なオーディオコンポーネントが重要です。[Rally Plus](#)には、クリアで会議室全体に音が広がる非常にひずみの少ないスピーカーが2台、付属しています。[Rallyスピーカー](#)は、会議室の前方に取り付けられ、声と映像が同じ方向から伝わるため、最も自然な会話ができます。

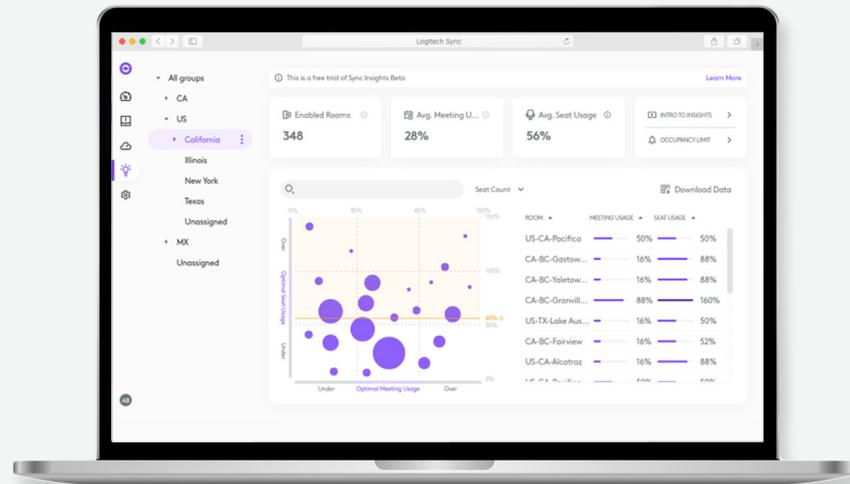
[また、Rally Plus](#)には、洗練されたデザインのマイクポッドが2台、付属しています。それぞれのマイクポッドには複数のビームフォーミング要素が含まれ、気を散らす音を排除して、会話のみを捉えることができます。より広いスペースでは、最大5台のマイクポッドを追加で設置して、ビームフォーミングマイクのマトリックスを会議室全体に広げることができます。

## デバイスのパフォーマンスの測定

ロジクール Syncは、会議スペースがどのように使用されているかについてのアクティブな洞察を提供し、独自の使用パターンに基づいてセットアップを最適化する方法に関する実用的なリアルタイムのアドバイスを提供します。Syncを使用すると、ITチームが座席配置の設定方法など、会議室の価値を最大限に引き出すために何を変更する必要があるのか理解する一助となります。（また、安全衛生や人事チームにも有用なデータを提供します。）

## 直感的な会議コントロール

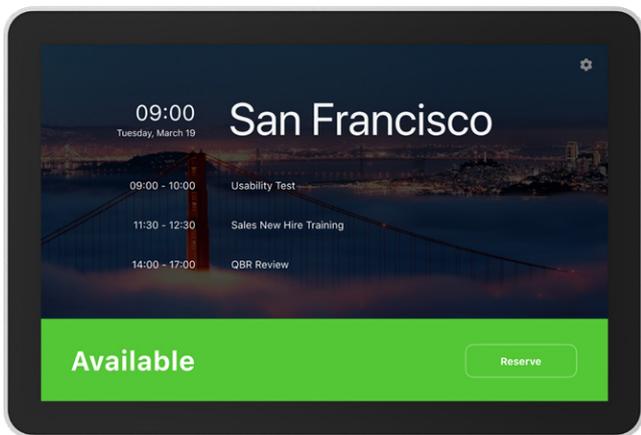
ワンタッチでの参加。これ以上シンプルなものがあるでしょうか？ Tapおよび Tap IPは、直感的なタッチスクリーンコントロールを会議スペースに導入します。この会議室タッチコントローラは、10.1インチの大型ディスプレイと洗練された薄型フォームファクターが特徴で、あらゆるオフィス環境にマッチします。さらに、組み込みのケーブルリテンションとストレインリリーフにより、すっきりとした配線を実現し、偶発的な切断を防止します。



## 各スペースを差別化し、付加価値を向上

IT部門は会議の成果をコントロールすることはできませんが、一般的な会議室の要件を超えて、各スペースのテクノロジーを会議ごとの目的に合わせて最適化できます。話を聞く、会話をする、共同作業をする、高度な意思決定をするなど、会議はそれぞれで、さまざまな形があり、目的もさまざまです。従業員が望む成果を達成するために必要なものを提供できるように、会議スペースは、特定の目的に役立つよう、それぞれに違いを持たせるようにすることが重要です。



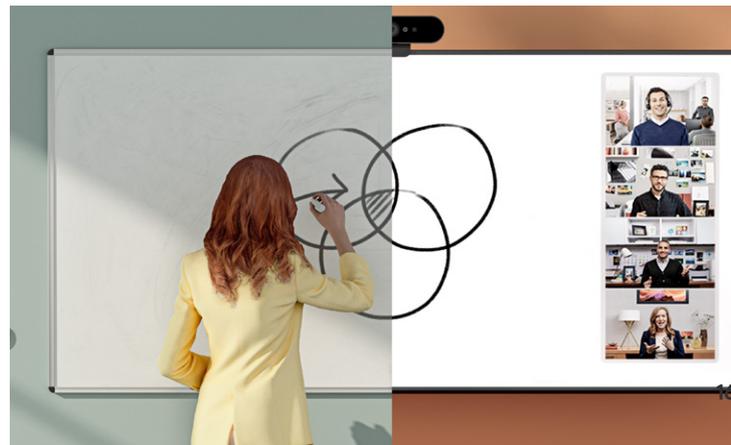


## 会議室の稼働率の最大化

会議スペースをさらに最大限に活用したいとお考えですか？[従業員が適切なスペースを簡単に見つけ、利用申請できるように](#)、Tap Schedulerを追加します。Tap Schedulerは、簡単に会議の詳細を確認したり、急な会議や予定された会議のために会議室を予約したりできます。

## ブレインストーミングを簡単に

カメラ越しだとクリエイティブなコラボレーションが難しくなるとは限りません。実際、[ロジクールScribe](#)を使えば、現実世界よりも簡単にコラボレーションできます。このAI搭載ホワイトボードカメラを使えば、ビデオ会議で簡単にホワイトボードを共有できるので、ハイブリッド通話で手軽にブレインストーミングしたり、アイデアを生み出したりできます。また、このカメラには透過効果があり、視聴者はプレゼンターを透過してホワイトボードを見ることができるため、プレゼンターは視聴者の視界を遮ることなく細部の指摘をしたり、ジェスチャーしたりでき、生まれたばかりのコンセプトをすべて提示するのに最適です。



## あらゆるビデオ会議アプリケーションに対応

会議室には通常、デフォルトのビデオ会議ソフトウェアが備わっています。これにより、会議への参加が迅速かつ容易になります。また、IT部門は、組織全体における導入の標準化と会議室管理の合理化を図ることができます。しかし、従業員が他の会議アプリケーションを使用する必要がある場合もあります。

[ロジクールSwytch](#)を導入すれば、この問題を解決できます。誰でも、ノートPCを接続してあらゆるオンライン会議やWebセミナーに参加できるようになります。



## エンタープライズグレードの安心感

[ロジクールSelectにより](#)、ロジクールは、必要なときにすぐに支援の手を差し伸べます。ロジクールSelectは、専任のカスタマーサクセスマネージャー、24時間年中無休の超迅速なサポート、高度でカスタマイズ可能なSync分析を提供する包括的なサービスプランです。

ロジクールSelectを利用すると、会議室のニーズについてすべて信頼して任せられ、継続性が問題になることはないという安心が得られます。また、ロジクールSelectは、Syncと組み合わせることで、ビデオ会議によるコラボレーションだけでなく、競争力の強化につながる重要な運用上の洞察を得ることができます。

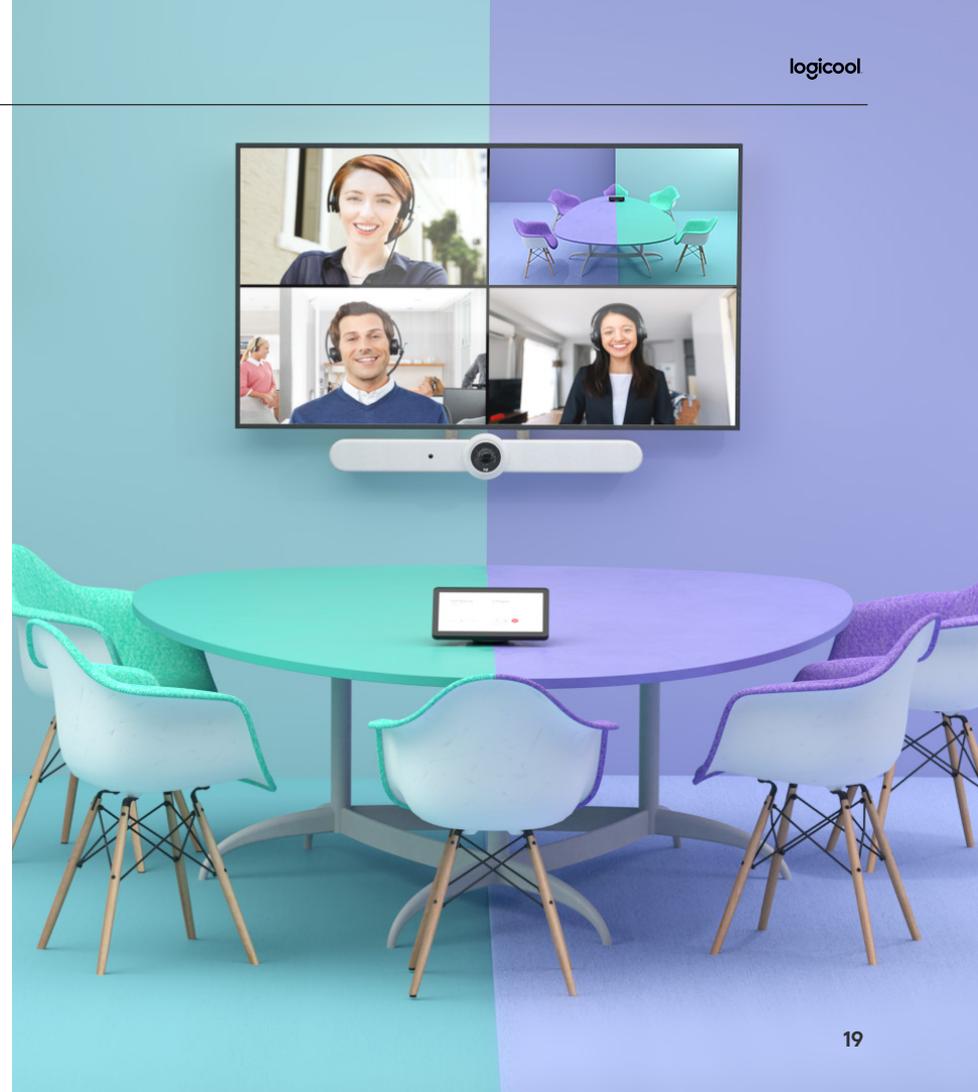


## 結論

ハイブリッドで働く生活が働き方の主流であり続ける中、トップの座を維持しようとする企業にとってビデオ会議はかつてないほど不可欠なものとなっています。

そのため、チームをサポートするための適切な機器を導入することに投資することが、今ほど重要な時期はないと考えられます。この重要な時期をうまく利用した人たちは、新しい働き方で成功するための最高のポジションを得ることができるのです。

これまで見てきたように、どのような会議スペースでも、その大小にかかわらず、ほんの少しの工夫で簡単にビデオコラボレーションの拠点に変えることができます。従業員がさまざまなプラットフォームの会議に効率的に参加できたり、ホワイトボードを使ったコラボレーションセッションを開催できたりと、会議スペースは膨大な可能性を秘めています。それはただ、お客様が適切なテクノロジーを備えているかどうかの問題なのです。そして、これを実現するために、お客様に合わせて構成されたロジクルの会議室ソリューションほど、会議用に最適なテクノロジーはないでしょう。



## 会議室ソリューションで他にできること

詳細はこちら。[www.logicool.co.jp/vc](http://www.logicool.co.jp/vc)



## logicool.

購入前のお問い合わせ:

株式会社ロジクール

<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ:

株式会社ロジクール カスタマーリレーションセンター

<https://prosupport.logi.com/>

<sup>1</sup>ロジクールの記事:中会議室をビデオ会議用に最適化。

© 2022 Logitech, Logicoool. All rights reserved.株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。